



# オーロラサーモン® 10周年

## 世界が注目するブランドに



ノルウェーのレロイ・シーフード・グループが2007年12月に日本で販売開始した「オーロラサーモン」が今年12月で10周年を迎える。ノルウェー北部の北極圏にある冷たく澄んだ海で養殖され、水揚げからわずか36時間で日本へ届けられるという「オーロラサーモン」は水産物の鮮度や品質に対して厳しい目を持つ日本市場で、またたく間に認知度を広め、「プレミアムサーモン」という確固たる地位を築き上げた。発売開始から10年経った現在でも量販店や回転寿司チェーンなどからの信頼は厚く、差別化品としての人気は衰えるどころか高まっている。

### 成功のカギはパートナーシップ

#### 躍進するレロイ社、持続可能性を重視

レロイ・シーフード・グループの株式を取得し、養殖事業に参入する。ノルウェーの北極圏にある冷たく澄んだ海で養殖され、水揚げからわずか36時間で日本へ届けられるという「オーロラサーモン」は水産物の鮮度や品質に対して厳しい目を持つ日本市場で、またたく間に認知度を広め、「プレミアムサーモン」という確固たる地位を築き上げた。発売開始から10年経った現在でも量販店や回転寿司チェーンなどからの信頼は厚く、差別化品としての人気は衰えるどころか高まっている。



ヘニング・ベルテスタッドCEO



レロイ・オーロラ社のカートエイナー・カールセン社長

「オーロラサーモン」の意味があるか。ベルテスタッド氏は水産物に対して厳し目の目を持つ。レロイ・シーフード・グループのヘニング・ベルテスタッドCEOは「オーロラサーモン」の成功や今後の販売方針、躍進を続けるレロイグループのめざす方向性について聞いた。

「レロイ・シーフード・グループのヘニング・ベルテスタッドCEOは「オーロラサーモン」の成功や今後の販売方針、躍進を続けるレロイグループのめざす方向性について聞いた。

#### 消費者との接点増やす

##### 日本レロイ 積極的に情報発信

レロイ・シーフード・グループの日本法人である日本レロイ社（東京都港区）は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。日本レロイ社が購入できる「オーロラサーモン」は、ノルウェー産のサーモンを輸入・販売している。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。



日本レロイの小井土社長



大起水産の協力で今夏開催した親子料理教室



オーシャン貿易と覚書を締結（左から小井土社長、ベルテスタッドCEO、オーシャン貿易の米田社長、金子直樹常務）

「オーロラサーモン」の認知度を高める。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の認知度を高める。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の認知度を高める。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の認知度を高める。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。



レロイ社が顧客と交わす3つの約束について説明する空輸部門のハンス・ペーター・ベストレ部長

#### 品質を追求した10年

##### オーシャン貿易・米田社長

###### レロイ社と信頼関係を構築



オーシャン貿易の米田社長

レロイ社と信頼関係を構築しているオーシャン貿易（東京都港区）の米田智夫社長は、開発段階から深く関わってきた「オーロラサーモン」について聞いた。



オーロラサーモンの流通

「オーロラサーモン」の流通。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の流通。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の流通。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の流通。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。

「オーロラサーモン」の流通。日本レロイ社は、消費者の方との接点を増やすべく、積極的に情報発信を行っている。